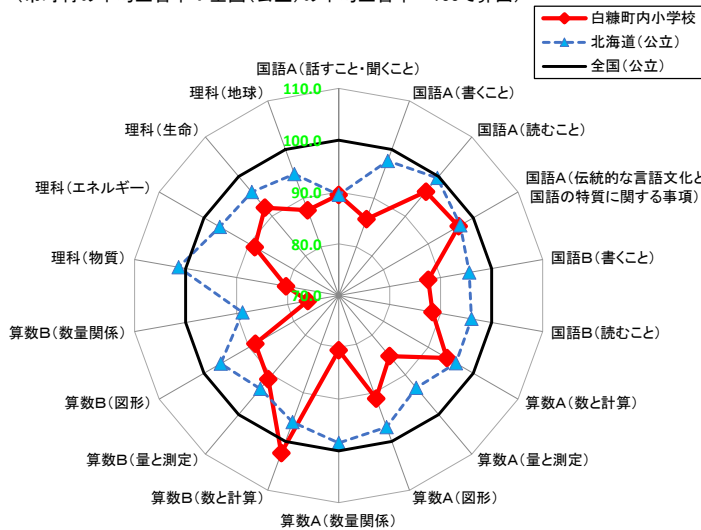


■白糠町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:3、児童数:57名)

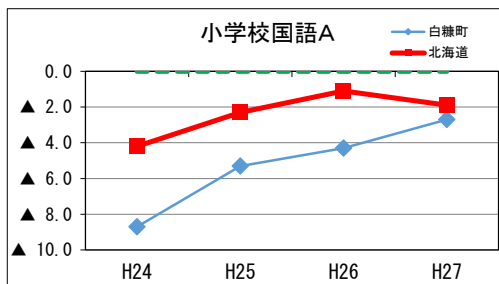
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを

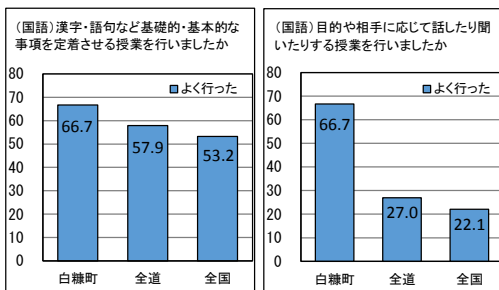
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



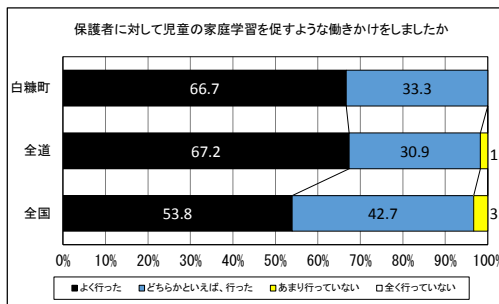
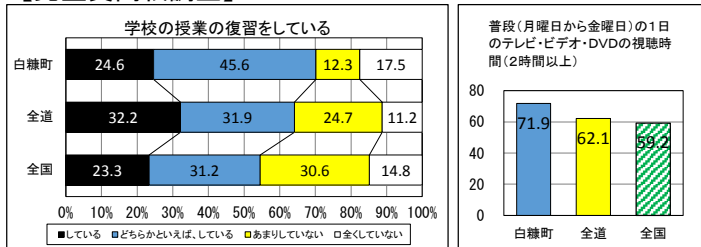
【平均正答率の全国との差の推移】



【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

| | | |
|-------|---|---|
| 教科 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、全国平均正答率を下回っているが、平成26年度と比べると改善している。 ○ 国語Bでは、全国平均正答率を下回っており、特に「書くこと」に課題が見られる。 ○ 算数Aでは、全国平均正答率を下回っており、特に「数量関係」に課題が見られる。 ○ 算数Bでは、「数と計算」で全国及び全道を上回っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校の国語の授業において、話すことや聞くこと、基礎的・基本的な事項を定着させる指導を行ったことにより、国語の学力が徐々に高まってきたと考えられる。今後は、「活用」に関する問題を意図的に取り入れるなど、児童の思考力、判断力、表現力等を高める授業改善を推進していく必要がある。 |
| 児童質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 普段、1日当たり2時間以上テレビやDVD等を視聴する児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 学校の授業の復習をしている児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭と連携して宿題を与えたことにより、学校の授業の復習をする児童が増加し、家庭での学習の習慣化が図られてきたと考えられる。 |
| 学校質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業」「目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業」を「よく行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを「よく行った」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭における児童のテレビやDVD等の視聴時間が長いことから、生活リズムチェックシートを活用するなどして、家庭学習を含めた生活習慣の確立を図る取組を進める必要がある。 |

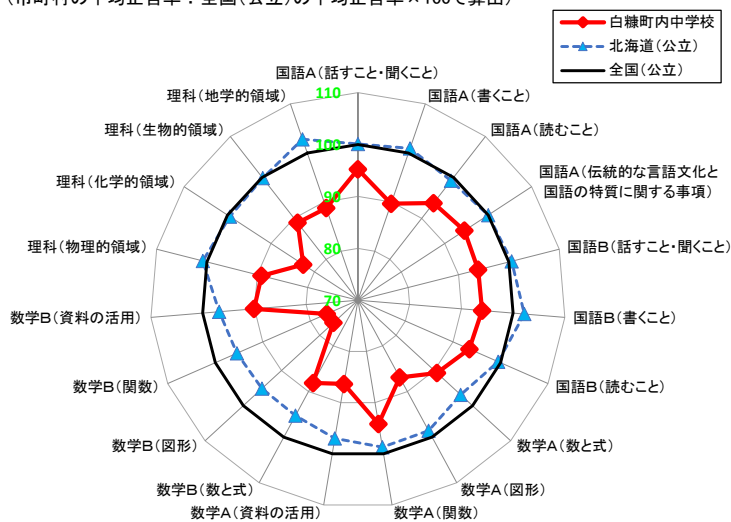
【白糠町の学力向上策】

- ◎ 各学校に学力・体力及び生活習慣の確立に向けた数値目標と具体的方策を明確にさせ、達成状況の把握及び指導助言を行う。
- ◎ 家庭との連携を図り、学校の学習内容を家庭学習で定着させるシステムを確立する。
- ◎ 各学校で作成している「家庭学習の手引き」を見直し、児童の主体性を促す実効性のある内容に改善する。
- ◎ 単元末や学期末において全国学力・学習状況調査やほかいどうチャレンジテストの問題を効果的に活用する。

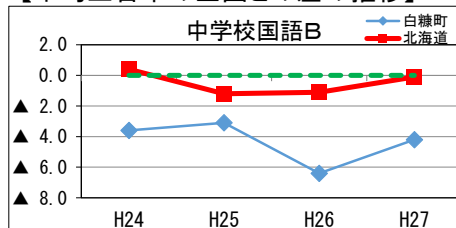
■白糠町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:3、生徒数:57名)

【教科全体の状況】

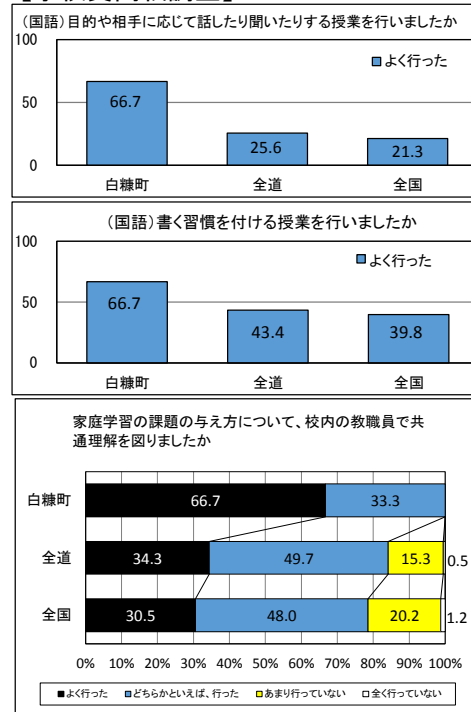
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



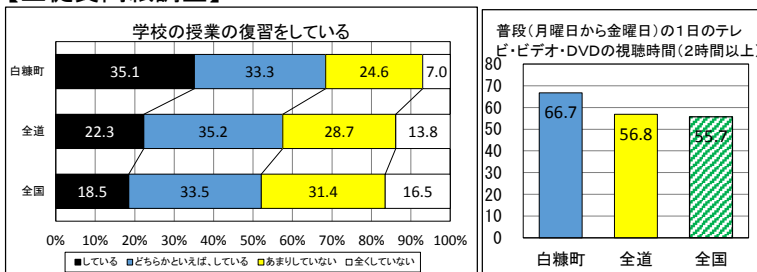
【平均正答率の全国との差の推移】



【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

| | | |
|-------|--|--|
| 教科 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Bでは、全国の平均正答率を下回っているが、平成26年度と比べると改善している。 ○ 国語Aでは、全国の平均正答率を下回っており、特に「書くこと」に課題が見られる。 ○ 数学Bでは、全国の平均正答率を下回っており、特に「図形」「関数」に課題が見られる。 ○ 理科では、全国の平均正答率を下回っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校の国語の授業において、話すことや聞くこと、書くことを意識した指導を行ったことにより、国語の学力が徐々に高まってきたと考えられる。今後は、小学校と連携した系統的な指導に取り組む必要がある。 |
| 生徒質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 普段、1日当たり2時間以上テレビやDVD等を視聴すると回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 学校の授業の復習をしていると回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 全教職員で共通理解を図り、家庭学習の方法を改善したことにより、生徒は家庭で学校の授業の復習をするようになり、家庭での学習の習慣化が図られてきたと考えられる。 |
| 学校質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の授業において、「目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業」「書く習慣を付ける授業」を「よく行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図ったと回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭におけるテレビやDVD等の視聴時間が長いことから、生活リズムチェックシートを活用するなどして、家庭学習を含めた生活習慣の確立を図る取組を進める必要がある。 |

【白糠町の学力向上策】

- ◎ 各学校に学力・体力及び生活習慣の確立に向けた数値目標と具体的方策を明確にさせ、達成状況の把握及び指導助言を行う。
- ◎ 家庭学習の内容を検討し、自ら進んで課題を見つけ、主体的に学習する学び方を身に付けさせる。
- ◎ 家庭と連携し、生活習慣の確立と家庭学習の習慣化について啓発活動を実施する。
- ◎ 理科に対する生徒の興味・関心を高め、基礎的・基本的な知識・技能を習得させる授業改善を推進するため、各学校の理科教員に対して研修への積極的な参加を促す。